

令和7年度

総合型選抜Ⅰ期 問題 課題作文

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 受験票に記載された学科と解答する学科に相違がないか、確認すること。
また、健康栄養学科・看護学科・理学療法学科・作業療法学科の受験者は、受験票に記載された科目と問題冊子に相違がないか確認すること。異なる場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ③ 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」、「受験番号」を記入すること。受験番号は算用数字で記入すること。
- ④ 試験時間は、60分です。
- ⑤ 句読点は1字として数えること。
- ⑥ 下書きは、問題用紙の余白・裏面を使用すること。
- ⑦ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

目 次

	ペ ー ジ
健康栄養学科	1
看護学科	3
理学療法学科	5
作業療法学科	7
生活環境学科	9
児童教育学科	11

令和7年度 総合型選抜 I 期 問題 (課題作文) 看護学科

【問題】 以下の文章を読み、設問に答えよ。

看護師にとって、専門の知識と技術とともにコミュニケーションスキルが重要である。

アルバート・メラビアン (Albert Mehrabian) は、聞き手にとって言語情報・聴覚情報・視覚情報のイメージが矛盾した場合 (好意的な話をしながら、表情が険悪である場合など)、話し手のどのような情報が聞き手に影響するのかという研究をもとに、「人と人がコミュニケーションをとる場合の影響力は、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%の割合を占めている」というメラビアンの法則を提唱し、人と人のコミュニケーションにおいて、視覚情報・聴覚情報・言語情報を統一させることの大切さを指摘した。

7%	38%	55%
言語情報	聴覚情報	視覚情報
言語コミュニケーション	非言語コミュニケーション	

参考：マジョリー・F・ヴァーガス 石丸正訳「非言語コミュニケーション」
新潮選書 1987

設問1 言葉以外のコミュニケーションについて、300字以内で述べなさい。

設問2 コミュニケーションするときに注意したいことについて、500字以内で述べなさい。